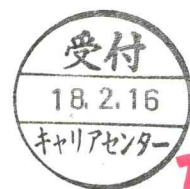


2017-2018

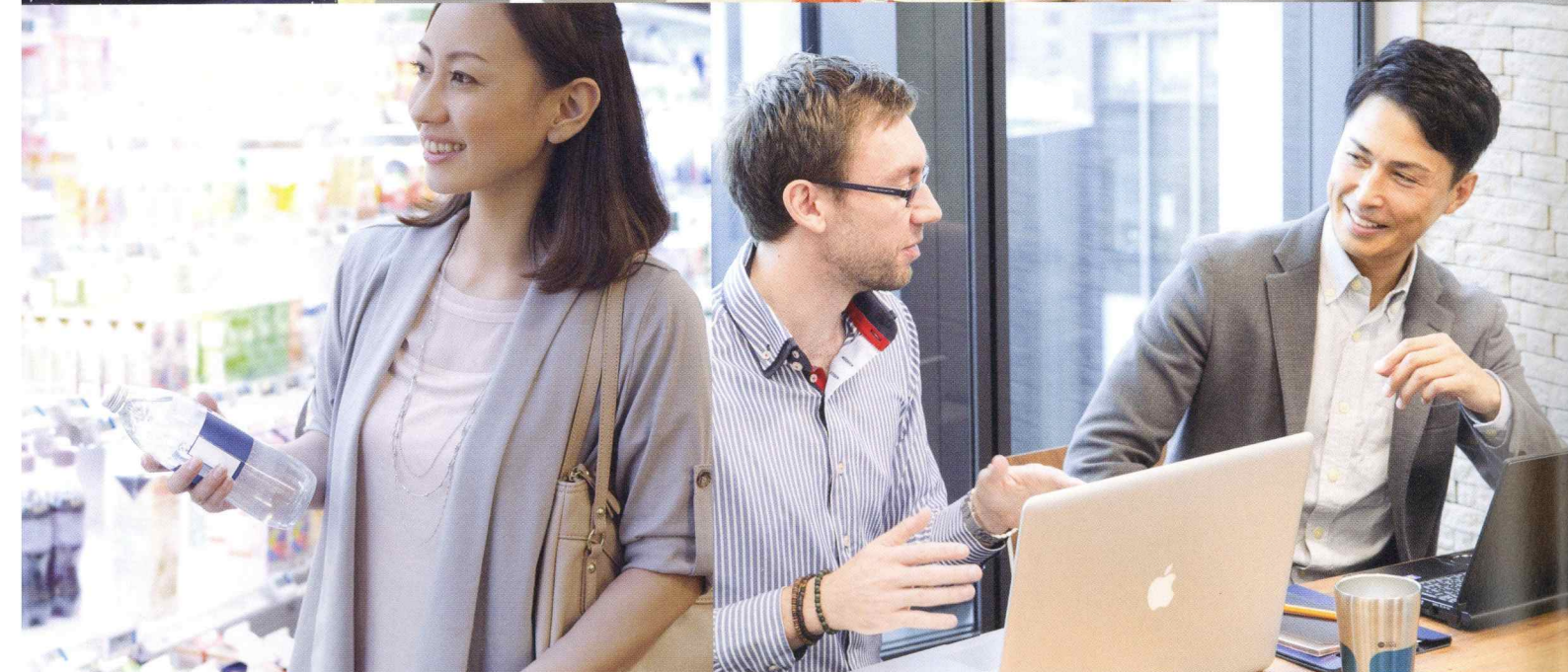
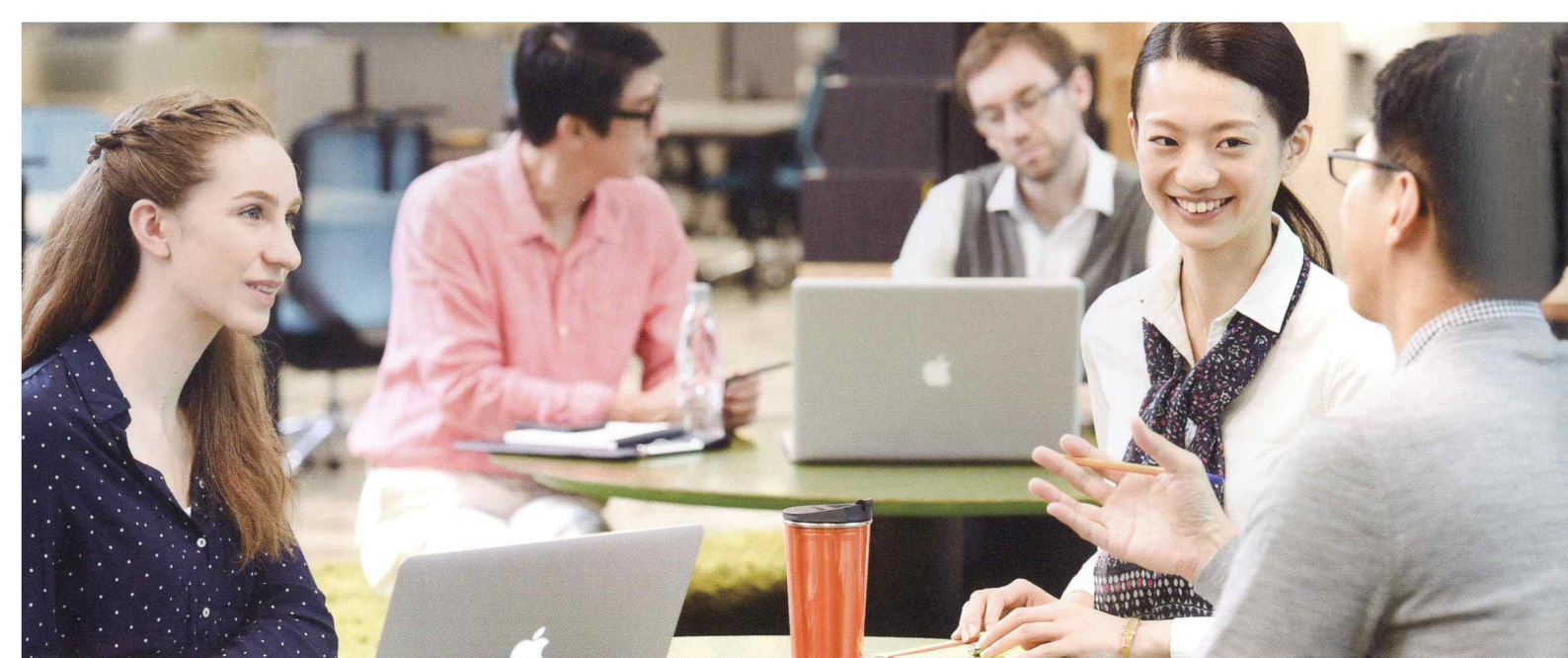
OKAMURA TODAY

会社案内

okamura



E



1945年、横浜市磯子区岡村町。

創業者を中心に設立の趣旨に賛同した人たちが資金、技術、労働力を提供し合って「協同の工業・岡村製作所」としてスタートを切りました。

その創業の精神は、「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是として今日に受け継がれています。

岡村製作所は創業以来、「よい品は結局おトクです」をモットーに、オフィスをはじめ、教育・医療・研究・商業施設、そして物流センターなど、さまざまなシーンにおいて、質の高い製品とサービスを提供しています。あらゆる分野の知識・技術を生かした「総合力」を強みとし、快適な空間創造をめざします。

Contents

オカムラの歩み	3	生産拠点	23
ごあいさつ	7	海外拠点・提携	25
売上高構成比・財務ハイライト(連結)	8	コミュニケーションプレイス	27
事業紹介		CSR	29
オフィス環境事業	9	オカムラの概要	33
商環境事業	13	財務情報(連結)	35
物流機器事業・機械事業	16	セグメント情報	37
オカムラの強み			
技術の源(工場)	17		
創造力の源(DESIGN・開発)	19		

受け継がれ、生き続けるものづくりの神髄

オフィス環境事業

1947  米軍クラブ家具製造

 ガーデンテーブル・チェア製造

1951  スチールデスク・イス生産開始

1956  スチール家具「DXライン」発売

 集合住宅用家具「Uライン」発売

1957  スチール製事務用デスク「31シリーズ」「36シリーズ」発売

 スチール製事務用デスク・チェアを「オフィスマスター」の名称で発売

1962  第1回「オカムラビジネスショー」開催

PR誌「イスの科学」発行

1963  折りたたみイスが初の「グッドデザイン賞(Gマーク)」受賞

1964  ジュニアデスク、イス発売

1964  米国オールスチール社技術提携(デスク、イス)

1966  インターウォール発売

1968  米国展示会NOPA出品(ニューヨーク)

1975  建設設備展「オカムラパワ」開催

システムキッチン生産開始

1976  移動間仕切「フェローウォール」発売

 システム収納「スリムライン」発売

1977  「20シリーズチェア」発売

1978  イタリア製システムキッチン「サルバターニ・ロングライン」発売

商環境事業

1957  ストア用陳列棚(Gondola)発売

 ストア用陳列棚「ローボーイ」発売

1961  スチール製 Gondola 「セルター」シリーズ発売

1963  米国 L.A. ダーリン社技術提携(システム Gondola)

1969  米国タイラー社技術提携(冷凍冷蔵ショーケース)オカムラタイラー(株)設立

1972  日本初の店舗システムショー 第1回 JAPAN SHOP 出展

1976  システム陳列什器「オムデイス」発売

1978  ノンデフロストシステムの冷蔵ショーケース発売

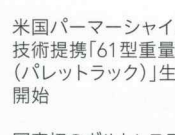
その他(物流機器事業他)

1948  トルクコンバータ研究開発開始

1951  トルクコンバータ生産開始

1957  小型フォークリフト用トルクコンバータ開発

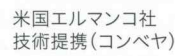
 トルクコンバータ工業展出展

1970  米国パーマーシャイル社技術提携「61型重量棚(パレットラック)」生産開始

国産初のボルトレスラック「63型軽量棚」発売

1976  国際物流機械展出展

1978  「ロータリーラック」発売

1973  米国エルマンコ社技術提携(コンベヤ)

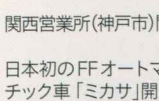
1945  10月10日岡村製作所創業 神奈川県横浜市磯子区岡村町

1948  株式会社に改組

1950  東京事務所新設(港区新橋田村町)

1952  神奈川工場新設(横浜市西区北幸町)

1953  戦後初の国産飛行機「N-52」完成

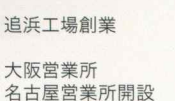
1955  関西営業所(神戸市)開設

日本初のFFオートマチック車「ミカサ」開発

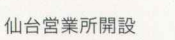
1957  第4回全日本自動車ショウ「ミカサマーク」「ミカサスポーツ」出品

横浜営業所開設

 赤坂に東京営業所・ショールーム開設(千代田区永田町)

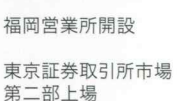
1958  追浜工場創業

大阪営業所 名古屋営業所開設

1959  仙台営業所開設

1960  (株)関西岡村製作所(大阪)設立

IBMパンチカードシステム導入、事務作業の機械化

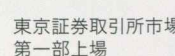
1961  福岡営業所開設

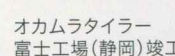
東京証券取引所市場第二部上場

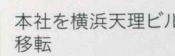
1969  産業用ロボット開発

1970  東京ショールーム完成

 富士工場(静岡)竣工

 東京証券取引所市場第一部上場

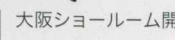
1972  オカムラタイラー 富士工場(静岡)竣工

1973  本社を横浜天理ビルに移転

1974  高島工場(山形)竣工

 ニューオータニ・ショールーム開設

1976  空圧式ロボット「RC-04型」開発

1979  大阪ショールーム開設



1945

1950

1959

1960

1970

オフィス環境事業

1980 オフィス研究所発足



本社OA対応型
オフィスを開
見学・取材多数

1986 エルゴノミクスチェア「28シリーズ」発売



1981 「N50型」ローパーティション発売

1988 「ニューオフィスがわかる本」出版

1984 デスクシステム「D-10シリーズ」発売



1991 オカムラ ガーデンコート ショールームオープン



統合型 オフィスファニチュア「Fシリーズ」発売



1996 「ワークプレイス戦略」出版

1997 次世代オフィスシステム「プロフィス」発売



1998 「変革するワークプレイス」出版

1999 多目的ミーティングファニチュア「プロスタック」発売

2000 オフィスシーティング「エルシオ」発売

2001 (株)富士精工本社と販売契約、セキュリティ事業に参入

2002 ORGATEC2002(独)初出展 Contessa を発表

2003 エルゴノミクスメッシュチェア「コンテッサ」発売



SECURITY SHOW 2003初出展

NeoCon2003(米)出展、Contessa を発表

2004 EIMU2004(伊)出展

2005 「オフィス進化論～オフィスはどこへ向かうのか～」出版

エルゴノミックメッシュチェア「Baron(バロン)」発表

パーソナルワークステーション「Cruise(クルーズ)&Atlas(アトラス)」発表

2007 「オフィスと人のよい関係ーオフィスを変える50のヒントー」出版

「The Office Exhibition 2007」(UAE・ドバイ)出展

2008 シカゴショールーム開設

NeoCon2008(米)出展

2009 オフィスラボ開設



2011 「はたらく場所が人をつなぐ」出版

2012 Future Work Studio "Sew" 開設

2013 「ナレッジ・コムズ グローバル人材を育むキャンパス空間」出版

2014 Okamura Future Studio=KiZUKi LABO 開設



第33回中国(広州)国際家具博覧会(CIFF)出展

2015 上下昇降デスク「スイフト」発売



Open Innovation Biotope "Sea" 開設

「オフィスはもっと楽しくなる はたらき方と空間の多様性」出版

2016 「WORK MILL (ワークミル)」活動開始

MENNOLU LABO (みのるらぼ) 開設

Open Innovation Biotope "Cue" 開設

商環境事業

1980 JAPAN SHOP 「通産大臣賞」受賞以降総理大臣賞等14年連続受賞

1989 新店舗情報誌「Stores of The Month」発刊

1990 AVソフト・CD 什器発売



1998 冷凍冷蔵ショーケース「フォンターナ」発表



2001 第1回JAPAN ドラッグストアショー出展



2008 オカムラ Visplay ショールーム開設



2014 カート機器発売



2015 「オスコムクラス」発売



その他(物流機器事業他)

1982 米国ヘロータリーラックの技術輸出

1987 縦型多列独立回転棚「ロータリーラックM」発売



1993 3次元搬送システム「スペースホーク」発売



1995 スウェーデンOCS社技術提携(オーバーヘッドコンベヤシステム)



2001 簡易制御機能付コンベヤ「ライトローラー」発売



2002 第3回国際建設機械展示会「bauma China 2002」多段型トルクコンバータ展示

2008 高速仕分け機器「ラインベルトソーター NBS Wave」発売

2010 天井搬送システム「スマートホーク」発売

2012 自動入庫・仕分けシステム「ロータリーソーター」発売



2014 ロボットストレージシステム「AutoStore(オートストア)」発売



1981 「総合経営情報システムの開発」が日本科学技術連盟より第12回「石川賞」受賞

1987 サイアム・オカムラ・スチール(タイ)設立



1982 「オカムラのOA戦略」出版

1988 (株)JTオカムラ(岡山)設立



1989 (株)オカムラ物流設立

1990 つくば工場(茨城)竣工



1991 横浜物流センター竣工



(株)エヌエスオカムラ(岩手)設立

1992 オカムラ・インターナショナル(シンガポール)設立

1994 (株)オカムラ ビジネスサポート設立

1996 サイアム・オカムラ・インターナショナル(タイ)設立

1997 中井事業所(静岡)竣工

1998 (株)エフエム・ソリューション設立

1999 (株)オカムラ サポートアンドサービス設立

2000 (株)ヒル・インターナショナル設立

ISO14001 全社統合審査登録

2003 第1回オカムラデザインスペースR開催

2004 上海岡村家具物流設備有限公司(中国)設立

大阪物流センター竣工

2005 シーダー(株)を子会社化

2006 鶴見事業所(神奈川)竣工

2008 (株)富士精工本社を子会社化

ロンドン支店開設

2009 オカムラいすの博物館開設

セック(株)を子会社化

追浜事業所新工場竣工



2010 (株)Td Japan 設立

上海ショールーム開設

2013 杭州岡村伝動有限公司設立

Salotto グループ(香港)を子会社化

砂畑産業(株)を子会社化

(株)イチエを子会社化

上海岡村建築装飾有限公司設立

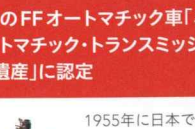
2014 岡村貿易(上海)有限公司設立

御殿場事業所新工場竣工

2015 PT. Okamura Chitose Indonesia 設立

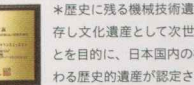
上海ショールームリニューアルオープン

日本初のFFオートマチック車のオートマチック・トランスミッションが「機械遺産」に認定



1955年に日本で初めて完成したFFオートマチック車「ミカサ」に搭載されたのが、トルクコンバータと二段変速機を組み合わせた日本初の自動変速機「AK-4型」。事業化はされなかったものの2015年には、ミカサに搭載されたトルクコンバータが一般社団法人日本機械学会の「機械遺産」*に認定されました。ミカサのもののづくりの遺伝子は、現在のオカムラの製品づくりにも受け継がれています。

*歴史に残る機械技術遺産を大切に保存し文化遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術に関する歴史的遺産が認定されています。



1980

1990

2000

2010

株式会社岡村製作所は、創業以来「よい品は結局おトクです」をモットーに、お客様のニーズを的確にとらえたクオリティの高い製品とサービスを社会に提供することに努めてまいりました。

現在は、「情報化」「国際化」「専門化」を企業改革のキーワードとし、安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

開発・製造・販売を一貫して行う強みを生かし、オフィス環境事業・商環境事業・その他(物流機器他)事業、各事業間の連携を強化すると同時に、アライアンス・M&Aの推進などにより、国内だけでなくグローバル市場の拡大を図り、さらなる事業の発展と企業価値の向上に努めてまいります。

また、創業の精神を原点に、事業活動を通じて環境負荷の低減に取り組むとともに、コンプライアンス経営の実践とコーポレート・ガバナンスの強化に努め、企業の社会的責任(CSR)を果たしてまいります。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を節目とした政府主導の「働き方改革」の動きが本格化し

てきました。人口の減少が続くなか、日本の低い労働生産性の一因である長時間労働などの悪しき慣習が日本経済の足を引っ張っていると考えられており、各企業においても、「労働生産性の向上」「人手不足への対応」は最重要の経営課題となっています。

弊社は、それらを解決するオフィスづくりや省人・省力化設備など、お客様にご満足いただけるソリューションをご提供いたします。また、企業を取り巻く環境が日々変化し続ける中、これからも、たゆまぬ研究により近未来を洞察し、付加価値の高い製品の開発と特徴あるソリューション提案で差別化を図り、多様化するニーズにお応えしてまいります。

新たな変革に挑戦しつづけ、快適な空間を創造するソリューション企業として、「人と社会に最適な環境を提供しつづけることを通じて、社会から信頼され愛される企業」をめざします。

今後とも、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **中村 雅行**



OFFICE FURNITURE

オフィス環境事業

売上高 **1,244** 億円 営業利益 **88** 億円



STORE DISPLAYS

商環境事業

売上高 **962** 億円 営業利益 **30** 億円



MATERIAL HANDLING SYSTEMS & OTHERS

その他(物流機器事業他)

売上高 **161** 億円 営業利益 **△0** 億円

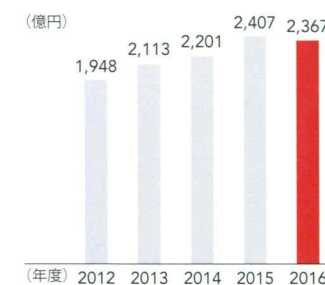


財務ハイライト(連結)

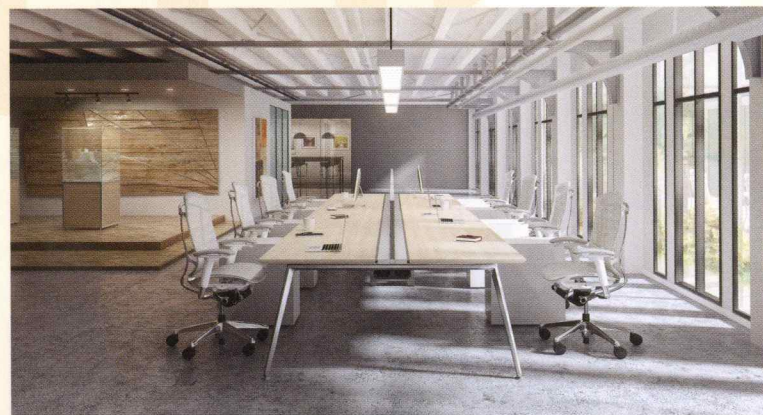
売上高
2,367 億円

経常利益
127 億円

当期純利益*
82 億円



*親会社株主に帰属する当期純利益



ワークスペース



ワークスペース



ワークスペース



ワークスペース



コミュニケーションスペース



ミーティング

カフェ



自治体庁舎

金融店舗

交流エリア

レセプション
エリア

建材

OFFICE FURNITURE

オフィス 環境事業

多様な働き方が求められるオ
う教育施設、劇場、ミュージア
高い研究施設や医療・高齢者
追求した製品とサービスを通
ます。その他、諸官庁や自治
多彩な製品とサービスを提供

フィスから、さまざまな人が集
ムなどの文化施設、専門性の
施設まで、機能性と快適性を
して、最適な空間を提案してい
体、金融機関、一般家庭まで、
しています。

執務エリア



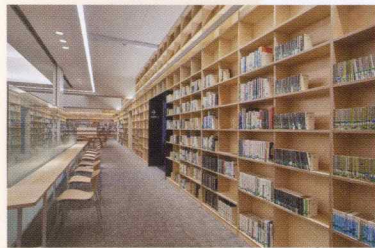
アクティブラーニング



講義室



特別教室



図書館



美術館・博物館



劇場・ホール



スタジアムベンチ



スタッフステーション



診察室



病室



手術室

エデュケーション

ラボラトリー

カルチャー

セキュリティ

ヘルスケア

ホームインテリア

OFFICE FURNITURE
オフィス 環境事業



化学実験室



分析実験室



システム開発室



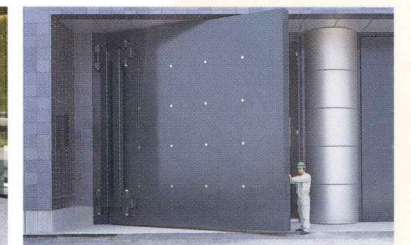
金庫扉



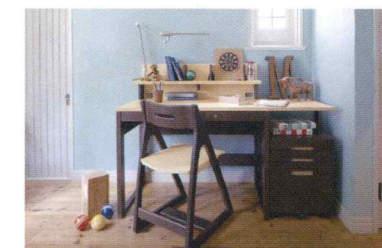
入退室管理システム



防水板



防水扉



学習デスク



上下昇降デスク



スモールオフィス向けファニチュア



上下昇降デスク



冷凍冷蔵ショーケース



冷凍冷蔵ショーケース



システム陳列什器



専用陳列什器

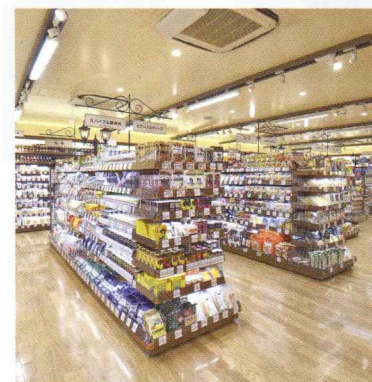
スーパー
マーケット・
コンビニエンス
ストア

社会環境や市場の変化に伴
くりを求められます。オカムラ
化をいち早く捉え、デザイナー
ンニングから什器の製造、施
りをトータルにサポート。陳列
各種専用什器から、バックヤ
で、幅広い品揃えでさまざまな

STORE DISPLAYS
商環境 事業

い、小売業は常に新しい店舗づ
は小売業を取り巻く環境の変
によるレイアウトや内装のプラ
工、メンテナンスまで、店舗づく
什器、冷凍冷蔵ショーケース、
ド機器、物流システム機器ま
ニーズにお応えします。

食品専門店



システム陳列什器



専用陳列什器

ドラッグ
ストア



システム陳列什器



冷凍冷蔵ショーケース

ホーム
センター



専用陳列什器



システム陳列什器



専用陳列什器



専用陳列什器

専用陳列什器

アパレル・
スポーツショップ



専用陳列什器

専用陳列什器

文具・雑貨



システム陳列什器

家電



専用陳列什器

書店

海外展開



システム陳列什器



専用陳列什器



専用陳列什器



多段式独立水平回転棚



ロボットストレージシステム

ロータリーラック・
自動倉庫



仕分け機器



固定棚

流動棚

搬送・仕分け
機器

MATERIAL HANDLING SYSTEMS 物流機器 事業

ロジスティクスの合理化を追求し、実践を通して、つねに新しい物流システム機器を開発、提供しています。より「早く」「正確に」「安全な」物流作業を実現し、経営メリットを生み出すための物流システムの改善の提案から、ソフトウェアの開発、機器導入、運用支援、アフターサービスまで、トータルにお手伝いします。

固定・移動・
流動棚

作業台・
周辺機器

機械事業
流体変速機



作業台



防護柵



除雪車用トルクコンバータ式トランスミッション



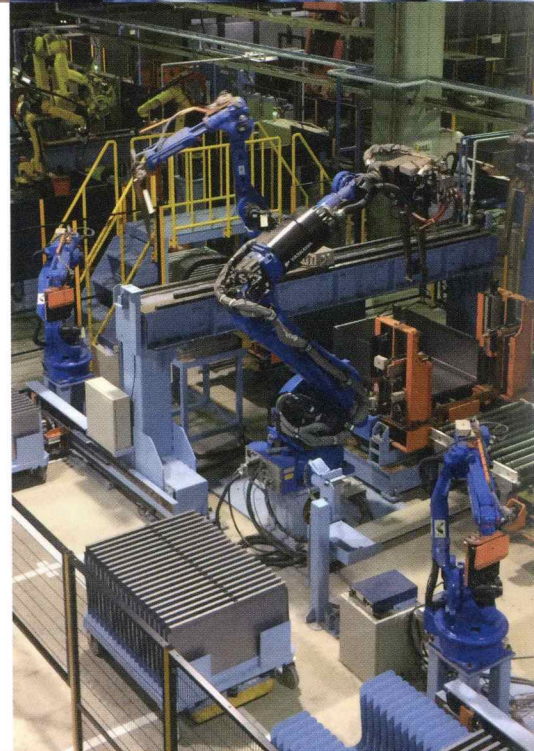
フォークリフト用トルクコンバータ式トランスミッション



オカムラの強み
技術の源〈工場〉

蓄えた技術を糧に、新たな価値へ挑む

これまで蓄積された加工技術を糧に、あらゆる加工を自社で行う技術力こそ、オカムラのものづくりの誇りです。特に創業時における航空機の薄板加工にさかのぼる金属加工は技術の源とも言えます。オカムラは、こうした技術資産を力に、最先端のシステムやツールも活用しながら、社会のニーズに的確に応えるものづくりに挑み続けます。



製造技術

Production Technology

独自の生産管理方式『OPS』 — OKAMURA PRODUCTION SYSTEM

生産性を高める「効率」の追求

生産性の向上と、品質の安定化を図り、ものづくりに強い企業体質を構築しています。



部品形状を認識できる視覚能力をもった、ロボットによる無人生産ライン。最新の設備による自動化を進め、生産性の向上と品質の安定化を図っています。

後進の育成

クオリティを支える人材の育成

次世代の技術者を養成するため、「技術技能訓練センター」では長年にわたって培ってきた高度な技術・技能の継承に努めています。技術技能訓練センターでは多様な教育訓練コースを設け、オカムラ製品のクオリティの確保、向上に結びつけています。



長年培ってきた自社加工技術

製造工程におけるさまざまな加工技術を社内に蓄積し、製品に必要なあらゆる加工を自社で行っています。中でも金属加工の歴史は長く、1945年の創業時に備えていた航空機の薄板加工までさかのぼります。現在も「技術技能訓練センター」での社内教育や「国家技能検定」の取得推進によりスペシャリストの育成に努め、伝統の金属加工技術を確実に継承しています。製造現場には、オカムラ独自の生産管理方式 OPS (OKAMURA PRODUCTION SYSTEM) を導入。付加価値を生まないムダなものを徹底的に排除するとともに、ロボットを活用した自動化を積極的に進め、生産性の向上と品質の安定化につなげています。



スチール加工



張り



塗装(無人塗装ライン)



縫製



樹脂成形



組み立て



木加工



検査

品質管理

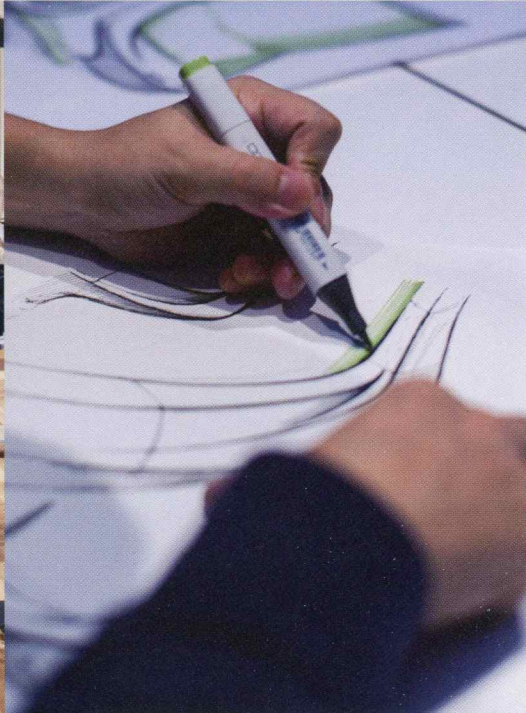
Quality Management

独自の基準を設けて品質と安全性を確保

製品を長く安心してお使いいただくために、JIS (日本工業規格) や海外規格を参考に、厳しい社内基準を適用し、各種解析、試作品による性能試験と耐久性試験を繰り返し行い、製品の品質と安全性を評価・確認しています。



耐久検査



創業以来「人間の環境づくり」をテーマに培ってきた
ハードとソフトのノウハウを源に、魅力ある環境を次世代へ
引き継ぐために、デザインポリシーの3つの視点を重視しています。
誰もが豊かさを実感できる製品づくりへ、オカムラはこれからも
機能性や安全性などとともに上質なデザインを極めていきます。



クオリティデザイン

Quality Design

お客様にとって真に価値のある製品を追求

製品の本質を追求し、お客様にとって真に価値ある製品を提供することをめざしています。製品のあるべき姿を求めて、ものづくりをきわめ、魅力ある新たな価値を創造します。具体的には、安全性の確保はもとより、人間工学に基づいた設計をはじめ、快適性の向上、創造性を高める環境の実現などに取り組み、常にお客様のニーズに的確に応えられるような製品開発を行っています。



エルゴノミック・シーティング・シミュレータ

オカムラの強み
創造力の源(DESIGN・開発)

空間に、新たな価値を見出す創造力

時代とともにライフスタイルやワークスタイルが移り変わり、空間に求められる要件も変化します。

オカムラは、そうしたニーズに的確に対応しながら、製品のあるべき姿を追求してきました。

オフィスをはじめ、教育・医療・研究・商業施設・物流施設に至るまで、理想の空間づくりを通し、新たな価値を創造していきます。

エコデザイン

Eco Design

製品のライフサイクル全体の環境負荷を低減

原材料の選択からの使用後の処理まで、製品のライフサイクル全体において環境負荷がより少ない製品を開発し、お客様に提供することで、持続可能な社会づくりに貢献します。そのため、製品の企画・デザイン・設計の各段階で環境アセスメントを実施するとともに、独自の環境基準による認定を行っています。

「グリーンウェーブ」・「グリーンウェーブ+(プラス)」

製品に関する独自の環境基準として、1997年から「グリーンウェーブ」を運用。環境に配慮した製品を7つの基準(省資源化、再生材料の利用、再資源化、再使用化、長寿命化、安全性と環境保全、省エネルギー化)に基づき認定し、推奨製品としてグリーンウェーブマークを表示しています。2010年に環境配慮レベルをより高めた基準として「グリーンウェーブ+(プラス)」を策定。

これらの基準を満たした製品をお客様に提案し採用いただくことを通じて、環境負荷の低減に寄与しています。



ユニバーサルデザイン

Universal Design

誰もが快適に使用できる製品や空間を創造

誰もが豊かさを実感できるデザインを追求し、製品と空間を使用すると考えられる多様な人を想定して開発を行っています。製品の基本性能を高めるとともに、オプションの追加やカスタマイズにより、安全性や快適性、適応性、わかりやすさ、情報へのアクセスなど、すべてのユーザーにとって使いやすい製品と空間を提案することをめざしています。



国内外での、数々の表彰や認定実績



グッドデザイン賞



reddot award 2016 winner

レッドドットデザイン賞



iFデザイン賞



IAUD AWARD

IAUDアワード

Awards

オフィス環境事業

OFFICE FURNITURE

全ての“働く環境”のつぎを創造していく

オフィスをはじめ、教育、医療、研究施設など、それぞれの目的に応じた理想の空間をトータルにご提案します。

働く環境において、人材や働き方が多様化していく中、その多様性を生かし、組織における創造性の発揮や生産性の向上が求められています。個人と組織が最高のパフォーマンスを発揮するために、さまざまな働き方を実現する環境づくりを進めていきます。



商環境事業

STORE DISPLAYS

調査から企画、設計、施工、保守、フィードバックまで、店づくりの川上から川下までサポート

お客様の出店計画の段階から、開店まで全ての工程をトータルサポート。思い通りの魅力的なお店づくりをご提案します。開店後には効果検証や設備の保守などを行い、既存店の改装や次回出店に生かします。また、全国体制の営業・デザイナー・施工管理・物流そして什器をつくる工場の全てがオカムラなので、出店に伴う煩雑な事務作業などお客様の負担を最小限にすることができます。



物流機器事業

MATERIAL HANDLING SYSTEMS

独創的な発想と長年培ったノウハウでお客様に最適な物流システムをご提案します

ますます多様化、高度化する物流業界。物流（ロジスティクス）の合理化が各企業の重要課題となっています。

オカムラは豊富な実績と卓越した技術をもとに最適な物流システムをご提案します。コンサルティングから、シミュレーションによる能力算定、最適プラン検討、システム設計、24時間体制の性能実験からメンテナンスまで、トータルソリューションをご提供します。



ワークフロー



ワークフロー



ワークフロー



WORK MILL

働く環境を変え、働き方を変え、生き方を変える。



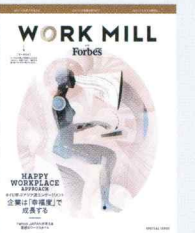
<http://workmill.jp>

WORK MILL MANIFESTO

世界のいたるところで「働き方改革」が起きています。働き方=ワークスタイルを改善するうえで、働く環境=ワークプレースの改善はとても大事な要素です。より新しく、よりその企業らしく、より人々が働きやすいワークプレースづくりが求められています。WORK MILLは、あらゆるワークスタイルを研究し、常識にとらわれないワークプレースを創造するための専門家集団であり、オカムラ発の働き方改革プロジェクトです。



WEB マガジン
<http://workmill.jp/webzine>



ペーパーマガジン
「はたらく」を考えるビジネス誌



共創空間 (詳しくはP28、P32を参照ください)

空間コーディネートに素材力を生かす

CMF

CMF 部門では、色・素材・仕上げの視点から提案を行い、デザインの統制を図ります。家具の開発では、時代の潮流や市場の動向を写真や言葉に置き換えたイメージボードを作成し、それをもとに時代性を反映させたCMFを提案します。



生産拠点・物流体制

業界最多の国内生産拠点で生み出されるオカムラ製品。徹底した品質管理により実現する高いクオリティはもちろんのこと、安定した供給力やきめ細やかな対応、そしてリードタイムの短縮効果で、確かな信頼をお届けします。



1. (株)山陽オカムラ

岡山県高梁市間之町1
生産品目 オフィスシステム/デスクシステム/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



2. (株)関西岡村製作所

大阪府東大阪市稲田上町2-8-63
生産品目 オフィスシステム/デスクシステム/システム収納家具/カウンター
 ISO9001登録 ISO14001登録



3. (株)富士精工本社

石川県能美市大浜町ヤ25
生産品目 金庫室扉・書庫室扉/セキュリティシステム・金庫/金融業業務用設備/貸金庫/壁体・壁面工事/原子力・その他防護製品
 ISO9001登録 ISO14001登録



4. 富士事業所

静岡県御殿場市大坂102-1
生産品目 移動・可動間仕切/物流システム製品/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



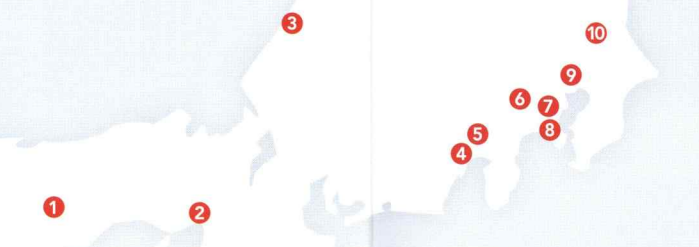
5. 御殿場事業所

静岡県御殿場市柴田字キタ744
生産品目 冷凍・冷蔵ショーケース
 ISO9001登録 ISO14001登録



6. 中井事業所

神奈川県足柄上郡中井町境390
生産品目 商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



7. 鶴見事業所/シーダー(株)

神奈川県横浜市鶴見区末広町2-2-17
生産品目 クリーンルーム用コンベヤシステム
 鶴見事業所 ISO14001登録
 シーダー KES登録



8. 追浜事業所

神奈川県横浜須賀野町5-2944-1
生産品目 オフィスシーティング/ロビーチェア/会議・ミーティングテーブル、チェア/流体変速機
 ISO9001登録 ISO14001登録



9. 砂畑産業(株)

東京都足立区西保木間4-13-1
生産品目 商業施設用什器



10. つくば事業所

茨城県つくば市緑ヶ原1-2-2 テクノパーク豊里工業団地
生産品目 システム収納家具/各種ローパーティション/医療・研究施設用什器/文教施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



11. 高島事業所

山形県東置賜郡高島町大字糠野目字北原五-2635
生産品目 高級木製デスク/木製会議テーブル/木製収納家具/SOHO家具/医療・研究施設用什器/文教施設用什器/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録



12. (株)エヌエス オカムラ

岩手県釜石市鈴子町23-15
生産品目 デスクシステム/物流システム製品/収納庫/研究室用システム什器
 ISO9001登録 ISO14001登録

物流体制

広域物流センター

横浜物流センター
 鶴見物流センター
 大阪物流センター
 綾瀬物流センター

地域物流センター

札幌配送センター
 仙台配送センター
 東京セーフウォールサポートセンター
 首都圏ディストリビューションセンター
 中部配送センター
 摂津配送センター
 広島配送センター
 福岡配送センター

リレー・センター(中継拠点)

盛岡リレー・センター
 新潟リレー・センター
 つくばリレー・センター
 静岡リレー・センター
 長野リレー・センター
 金沢リレー・センター
 高松リレー・センター
 沖縄リレー・センター

生産拠点倉庫

追浜配送
 富士配送
 高島配送
 つくば配送
 御殿場配送
 中井配送

関連会社倉庫

関西岡村配送
 エヌエスオカムラ配送
 山陽オカムラ配送



Siam Okamura Steel Co., Ltd.

51/5 Moo 2 Poochao Rd., Bangyaparak, Phrapradaeng, Samutprakarn, 10130, Thailand
生産品目 東南アジア市場向けオフィス家具・商業施設用什器等
 ISO9001登録 ISO14001登録



杭州岡村伝動有限公司

中国浙江省臨安市經濟開發區東環路88号
生産品目 中国における流体変速機
 ISO14001登録



東莞誠美家具有限公司

中国広東省東莞市万江区官橋滘村勝利龍湾中路
生産品目 木製デスク/木製収納家具/商業施設用什器
 ISO9001登録 ISO14001登録

Global Network

オカムラの製品は国内・海外の工場施設で生産され、一貫管理された物流ネットワークを通じて世界各地へ送り出されています。海外との技術提携、販売提携をはじめ、国内外の関連会社、販売提携先が本社・支社と強力に連携しながら、品質とサービスの向上に努めています。

●販売拠点 ●海外提携(輸入) ●海外販売代理店

販売拠点

UK



ロンドン支店
1st Floor, 54 Hatton Garden, London EC1N 8HN, UK
TEL: +44-20-3077-5930

UAE



ドバイ支店
Bldg.6 East,Block A, office No.521, Dubai Airport Freezone, Dubai, UAE
TEL: +971-4-3575197

NETHERLANDS



ロッテルダム支店
Stationsplein 45, Unit B7.043, 3013 AK Rotterdam, The Netherlands
TEL: +31-10-213-4414

THAILAND



Siam Okamura International Co.,Ltd.
3199 Maleenont Tower 19th Floor, Rama4 Road, Klongton, Klongtoey, Bangkok 10110, Thailand
TEL: +66-2661-5474~79
タイ、近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、商業施設用什器の販売

CHINA



上海岡村家具物流設備有限公司
15F B block, FutureLand building, No.5 Lane 388, Zhongjiang Road, Putuo District, Shanghai, 200062 China
TEL: +86-21-6226-5589
中国におけるオフィス家具、物流システム製品、商業施設用什器等の販売

USA



シカゴ支店/ ショールーム
222 Merchandise Mart Plaza, Suite 11-124, Chicago, IL 60654, USA
TEL: +1-312-645-0115

VIETNAM



ホーチミン駐在員事務所
Suite 1104 11th Floor Saigon Tower, 29 Le Duan St., District 1, HCMC, Vietnam
TEL: +84-28-3822-6392

SINGAPORE



Okamura International (Singapore) Pte Ltd
16 Raffles Quay #14-02 Hong Leong Building, Singapore 048581
TEL: +65-6224-7995
シンガポール、近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、商業施設用什器の販売

HONG KONG



Salotto (China) Limited
2903 Two Chinachem Exchange Square, 338 King's Road, North Point, Hong Kong
TEL: +852-2898-9777
香港におけるオフィス家具の販売。中国に販売子会社、製造子会社を持つ

INDONESIA



PT. Okamura Chitose Indonesia
MidPlaza-2 12th Floor, Jl.Jend. Sudirman Kav 10-11, Jakarta 10220, Indonesia
TEL: +62-21-572-3925
インドネシアにおけるオフィス家具、商業施設用什器の販売

海外提携

オフィス環境



FORA FORM社[ノルウェー]
パブリック家具



WIESNER HAGER社[オーストリア]
パブリック家具



PRO-CORD SPA社[イタリア]
ビレティデザイン家具



WOGG社[スイス]
フォールディングテーブル



Hub Design S.r.l社[イタリア]
パブリック家具



ERLAB社[フランス]
グリーンヒュームフード



DORMA HÜPPE社[ドイツ]
移動間仕切



AutoStore AS社[ノルウェー]
ロボットストレージシステム

物流システム



OCS社[スウェーデン]
天井搬送機器



TGW SYSTEMS社[アメリカ]
搬送・仕分け機器

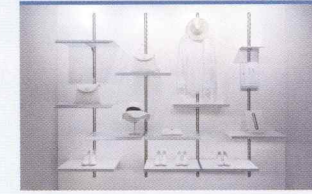


AutoStore AS社[ノルウェー]
ロボットストレージシステム

商環境



DARLING社[アメリカ]
店舗陳列システム什器



Vitra社[スイス]
店舗陳列システム什器

Global Topics

海外の展示会へ積極的に出展し、オカムラの技術力とデザイン力を紹介、国際市場での信頼を高めています。急速に変化する市場の動きをとらえながら、新たなビジネスの開拓にも取り組んでいます。

North America 北米

NeoCon 2017

1969年から毎年アメリカ・シカゴで開催されている北米最大級の商業インテリア展示会「NeoCon(ネオコン)」。毎年、北米を中心に世界各国から5万人近くのデザイナーやディーラーが来場します。オカムラは、2008年よりマーチャндаイズマート内にシカゴ支店とショールームを開設、2017年は10回目の出展となりました。



Europe 欧州

ORGATEC 2016

2016年10月、ドイツ・ケルンで開催された「ORGATEC 2016(オルガテックケルン国際オフィス家具見本市2016)」に出展。日本国内に先駆け、新製品のオフィスシーティング「Contessa II(コンテッサセコンダ)」を発表しました。オカムラブランドをグローバルに発信する好機となりました。



Asia アジア

Architect'16

2016年4月、タイ・バンコクで開催された建材家具展「Architect'16」に出展、日本製のオフィス家具を中心に展示し、高い機能性とデザイン性をアピールしました。

RetailEX ASEAN2016

2016年8月には、「RetailEX ASEAN2016」(タイ・バンコク)に出展し、冷凍冷蔵ショーケースやカート機器製品、 Gondolaなどを展示しました。



Architect'16



RetailEX ASEAN2016

Communication Place

東京・赤坂の緑あふれる庭園に囲まれた展示面積約4,400㎡の「オカムラ ガーデンコートショールーム」をはじめ、各種製品を確認いただけるショールームを、全国各地と米国・シカゴ、中国・上海に展開しています。オフィスや学校、病院などの空間づくり、また商品陳列を検証できる店舗用システム什器の展示など、オカムラが提案する新たな製品やコンセプトをいち早く紹介しています。また、東京・千代田区の「オカムラいすの博物館」では、オフィスシーティングにおける進化の歴史や人間工学に基づいて研究した技術などを紹介し、いすについて体験的に学んでいただく場を提供しています。これからのオフィスを具現化した実験空間「オフィスラボ」を全国各地に展開。東京・名古屋・大阪の3都市・4拠点の共創空間では、ゲストや参加者と共に新たな「はたらく」価値をひき出すさまざまなイベントを開催しています。

ショールーム

Showroom



ガーデンコートショールーム

東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ・ガーデンコート
3F
電話：03 (5276) 2001
開館：午前9時～午後6時
(土曜日 午前10時～午後5時)
休館日：日曜、祝日



大阪ショールーム

大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪 タワーA
21F
電話：06 (4802) 3370
開館：午前9時～午後6時
休館日：土曜、日曜、祝日



仙台ショールーム

宮城県仙台市青葉区花京院
1-1-20 花京院スクエア12F
電話：022 (712) 1491
開館：午前9時～午後5時30分
休館日：土曜、日曜、祝日



名古屋ショールーム

愛知県名古屋市中村区名駅
3-28-12 大名古屋ビルヂング
14F
電話：052 (551) 3170
開館：午前9時～午後6時
休館日：土曜、日曜、祝日
予約制



福岡ショールーム

福岡県福岡市博多区博多駅前
1-3-3 明治安田渡辺ビル1F
電話：092 (482) 8822
開館：午前9時～午後5時
休館日：土曜、日曜、祝日



Vitra 店舗用什器 ショールーム

東京都千代田区内神田1-1-7
東大手ビル1F
電話：03 (3259) 6028
開館：午前9時～午後6時
休館日：土曜、日曜、祝日



シカゴショールーム

222 Merchandise Mart Plaza,
Suite 11-124, Chicago,
IL 60654, USA
電話：+1-312-645-0115
開館：午前9時～午後5時
休館日：土曜、日曜、祝日



上海ショールーム

Room 08-15, 18F, Infinitus
Tower, 168 Hubin Road,
Huangpu District, Shanghai
200021 China
電話：+86-21-6333-9080
開館：午前9時～午後6時
休館日：土曜、日曜、祝日

博物館

Museum



いすの展示室(8階)



「ミカサツーリング」の展示



オカムラいすの博物館

東京都千代田区永田町2-13-2
電話：03 (3593) 6195
開館：午前9時～午後5時
休館日：土曜、日曜、祝日
入場無料・予約制

ラボ

Labo



オフィスラボ

東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ・ガーデンコート内
※原則として一般公開はしていません。
電話：03 (5276) 2001
休館日：土曜、日曜、祝日

共創空間

Co-creation space



Open Innovation Biotope Sea (シー)

東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ・ガーデンコート3F



Future Work Studio Sew (ソウ)

東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ・ガーデンコート10F



Open Innovation Biotope Cue (キュー)

愛知県名古屋市中村区名駅
3-28-12 大名古屋ビルヂング14F



Open Innovation Biotope bee (ビー)

大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪 タワーA 21F

持続可能な社会をめざして

オカムラグループは、人と社会に最適な環境の提供を通じて、社会から信頼され愛される企業をめざし、グローバルな事業を展開する企業として国際社会の中で社会的責任(CSR)を果たしていくための考え方を明確化しています。



CSR 経営

オカムラグループCSR方針に基づく企業活動の推進

オカムラの創業の精神は、「創造、協力、節約、貯蓄、奉仕」の5つの言葉からなる社是として、またこれを受けた「基本方針」として今日に受け継がれています。オカムラグループは、事業活動の経済的側面と同時に社会的側面・環境的側面の重要性を認識し、企業の社会的責任(CSR)を果たす経営に取り組んでいます。

オカムラグループCSR方針 制定：2010年3月 改定：2014年4月

オカムラグループは、人と社会に最適な環境を提供しつづけることを通じて、社会から信頼され愛されるグローバル企業をめざします。

- コンプライアンスの推進**……法令遵守の徹底や腐敗行為の防止はもとより、高い倫理観に基づき行動し、公正、透明、誠実な企業活動を行います。
- クオリティの追求**……高い品質と安全性を追求し、創造性豊かな技術・製品・サービスを社会に提供します。
- 地球環境への取り組み**……環境に配慮した事業活動を行い、「持続可能な社会の構築」に貢献します。
- 情報の開示**……ステークホルダーの皆様にご適時・適切な情報開示を行うとともに、コミュニケーションの充実を図り、信頼を得られるよう努めます。
- よりよい職場づくり**……健康と安全に配慮した職場づくりに努め、社員一人ひとりの多様性を尊重した上、それぞれが働き甲斐を感じ、互いに協力し、自己成長できる環境をめざします。
- 人権の尊重**……人権を尊重し、一人ひとりの個性や多様な文化の理解に努め、差別を排除します。
- 社会との調和**……地域と共存し、社会とともに成長する企業をめざし、健全でよりよい社会の実現に寄与します。

クオリティの追求

平成28年度「現代の名工」*1と「技能五輪」*2で表彰

技術技能訓練センター所長の畑岡 耕一が、平成28年度「現代の名工(卓越した技能者)」表彰を受賞しました。畑岡 耕一は、1966年に入社以来、オフィス家具製品の試作や設計業務に長年従事しました。特にオフィスチェア製造工程の全般に精通し、設計や生産技術に関する多くの工法を開発するなど、日本のオフィスチェアの精度向上に貢献、現在は技能者の指導と育成に尽力しており、数々の功績が認められました。

また、同年度の「技能五輪」全国大会では、平面の金属板を加工して立体の製品を作る「曲げ板金」で、技術技能訓練センターの佐藤 大が銅賞を受賞。切る・叩く・曲げる・つなぐなど、工業製品に必要な広範な作業内容が含まれた職種で、日頃の訓練の成果が表れました。

*1 「現代の名工(卓越した技能者)」表彰制度は、きわめて優れた技能を有し、産業の発展などに寄与した技能者を厚生労働大臣が年に1回表彰する制度です。
*2 23歳までの青年技術者が技能レベルを競い合う大会で41の職種があります。



技能五輪の競技風景

生産本部
技術技能訓練センター
佐藤 大



生産本部
技術技能訓練センター
所長 畑岡 耕一

地球環境への取り組み

活動事例

「アファンの森」体験型研修



「ACORN」活動の推進

オカムラグループは、「生物多様性の保全と森林資源の持続可能な利用をめざすアクション」を「ACORN(エイコーン; 英語で“どんぐり”の意)」と名づけ、3つのアクションプランを設定して継続的な取り組みを進めています。



- act-1 木材利用による森林健全化**
生物多様性保全と最も密接に関わるのが木材利用であると考え、木材を原材料とする際の「オカムラグループ 木材利用方針」に基づいて製品を開発。森林資源の利用と森林健全化に取り組んでいます。
- act-2 自然環境に学ぶ**
体験型研修会や専門家による研修会、自然環境保全活動への参加などを継続して行い、生物多様性保全への意識向上を図ります。今後は、習得した知識や感性を環境活動や製品開発などに生かします。
- act-3 環を広げる**
act-1やact-2で培った財産を社会へ広げるために、「ACORN」の活動を伝へ双方向のコミュニケーションに努めることで、生物多様性保全や森林健全化の認識向上や行動を促しています。

エコプロ2016「木育」をテーマに出展

2016年12月8日～10日に開催の「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展」で「ACORN」を紹介しました。木を活用した製品とともに、木材の特長や利用の意義などを学ぶ「木育」製品や、馬搬による木材を使ったホースロギングファニチャーを展示しました。大学*と協業した製品は、子どもが触れて組み合わせできる点がポイント。「間仕切り」には製材ワークショップを行った板を、「シェルフ」「スツール」には重さや風合いの違いが分かるよう複数の樹種を使い、自然素材由来の塗料で彩りました。ブース内での環境授業も高い関心を集めました。

* 早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科 古谷誠章研究室



さまざまな木を活用した製品の展示



環境授業の実施

エヌエスオカムラが塗装前処理方法の改革で「省エネ大賞」経済産業大臣賞を受賞

関連会社の株式会社エヌエスオカムラが、「平成28年度省エネ大賞」*の省エネ事例部門で経済産業大臣賞を受賞しました。受賞対象は「塗装前処理方式の変更によるエネルギー原単位の大幅削減」で、先駆的で独創的な省エネルギー対策として評価されました。

この技術は、塗装工程の環境負荷低減のために開発され、工場のエネルギー原単位10%削減に加え、産業廃棄物である化成スラッジ排出の完全ゼロ化、塗装設備・品質安定化も実現。塗布剤として、化成材料に替えてシランカップリング剤を独自の方法で用い、シラン剤はPRTR対象物質を一切含まないため、化学物質による環境負荷低減にも寄与します。同賞の経済産業大臣賞は東北地区で初、塗装プロセスにおいても初でした。また2016年10月には、環境省主催「2016年度循環型社会形成推進功労者環境大臣賞」も受賞しました。

* 一般財団法人省エネルギーセンター主催



省エネ大賞 経済産業大臣賞 授賞式にて

よりよい職場づくり



女性活躍のめざす姿

1. 一人ひとりが自身のめざす姿を描き続け
2. あらゆる状況の中でも自分なりの成長を常に意識し
3. 仲間とともに、組織の発展に様々な形で貢献している

社会との調和

ダイバーシティ推進プロジェクト

2016年4月の女性活躍促進法施行を機に、女性をはじめ多様な人材の活躍、仕事と生活の充実、キャリア形成ができる組織風土の実現を目的に8月、ダイバーシティ推進プロジェクトを設置し、女性従業員比率の向上(2020年までに20%)などを目標に取り組んでいます。「ソダテルプロジェクト」の愛称を付け、意識を、組織を、人(キャリア)を、風土を、お互い様の想いをそれぞれ「育てる」、子育て中の人環境をつくる、など「ソダテル」の促進をめざし検討を行っています。その一歩として策定されたのが、女性活躍のめざす姿です。



「ソダテルプロジェクト」ミーティングの様子



女性従業員向けワークショップを開催

生産事業所における工場見学

オカムラグループの生産事業所では、近隣住民の方々やお客様を対象とする工場見学を実施しています。製品づくりの様子や周辺環境への取り組みなどをご覧いただき、見学者との対話の場を設けています。2016年度は、各生産事業所で計2,529名の方が工場見学されました。また、前年に引き続き追浜事業所において「ものづくり工場見学」を開催し、シーティングがつけられる工程の見学を行うとともに、コインケースの作成体験を通して、ものづくりの楽しさを伝えました。



山陽オカムラで地元の小学生が工場見学



「ものづくり工場見学」の様子

小学校への環境出前授業実施

社会貢献活動の一環として、2007年から小学校への環境出前授業を実施しています。従業員が講師になり、学校用の「机やイスの3R*」をテーマに「ものを大切に使う心」を養う授業、生物多様性保全と森林資源の持続可能な利用をめざす取り組みをテーマに世界の森林の現状を知り、自分たちにできることを考える授業を行っています。今後も授業の内容の充実を図り、ものづくりを行う企業として、次代を担う子どもたちに対し環境問題への理解と環境意識の向上を促していきます。

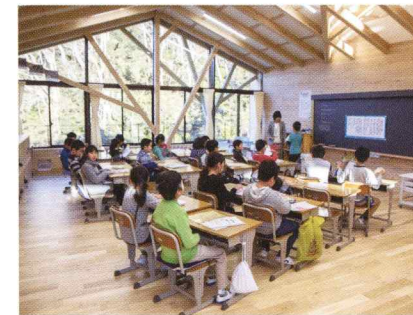
* 3R(リデュース、リユース、リサイクル): Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源化)

「環境出前授業」で自分たちに今できることを考え、実行する気づきの場を提供

神奈川県内の小学校で環境問題をテーマに定期的出前授業を行っています。机やイスが製造されて届くまでの流れや、それらの素材がどこから運ばれるかなどを教えています。子どもたちには、机・イスのお手入れも行ってもらいます。洗浄液で天板面を拭き、ネジの緩みを締め直した机・イスを嬉しそうに使う姿からは、ものを大切に使う重要性の理解や、環境意識の高まりが伝わり、担当スタッフも嬉しく思います。さらにこの授業は、さまざまな自然素材が使われるというものづくりの特性を思い返し、環境に配慮する思いを新たにできる機会ともなっています。



環境出前授業で「木」を無駄なく使う工夫を説明



宮野森小学校 新校舎での授業の様子

震災復興をサポートしたプロジェクトで、地域に新しい「森の学校」が誕生

オカムラグループは、東日本大震災の被災地復興に向け継続的な支援を行っています。その活動の一環として、一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団を中心に進められている「アフアの森 震災復興プロジェクト」に協賛。甚大な被害を受けた宮城県東松島市における「森の学校づくり」など、地域再生の取り組みを支援してきました。2017年1月には、2小学校統合による東松島市立宮野森小学校の新校舎が誕生するなど、確かな歩みに結びついています。



社会のさまざまな課題解決に向けて、「共創空間」から生まれる新しい価値

組織や社会の課題が複雑化する中で、多様なステークホルダーと対話で課題を解決する働き方が注目されています。オカムラの「オープン・イノベーション・ピオトープ“Sea(シー)”」は、未来の「はたらく」につながる「共創」による企画やイベントなどを実施。「働き方」や「イノベーション」をテーマにさまざまなプレゼンテーションやトークセッションなどを行い、課題解決への議論や情報発信を展開。明日を見つめ、新たな価値を創る活動を育んでいます。



活動事例

「紀尾井町・番町・麴町 新しいまちプロジェクト」

2016年1月の「SEA DAY 01」では「紀尾井町・番町・麴町 新しいまちプロジェクト」を議論。地域特性を生かした市民と企業市民による都心のまちづくりが、具体的な活動につながっています。



「Sea インターンシッププログラム」

「共創」の取り組みの一環でインターンシップやジョブパートナー制度を導入。本プログラムでは運営補助からレポート作成まで実務も体験。学生が「はたらく」ことを考え成長する機会を提供しています。



「はたらく」をともに考え、描くためのオカムラの活動 —「WORK MILL」

個人や組織がこれからの「はたらく」を考え、働き方や働く場をさまざまなステークホルダーとともに描く「WORK MILL(ワークミル)」を推進。「Sea」もこの一環として運営されています。名称の「MILL」には「見る」と「挽く(mill)」の意味を込め、働き方や働く場の新しい価値を引き(挽き)出すのを目的に、「はたらく」にまつわるさまざまな情報や知見を見つめます。ウェブマガジンの配信やビジネス誌の発刊とともに、多様な人材が集う共創空間を運営しています。現在は「Sea」のほか、「Future Work Studio“Sew(ソウ)”」(東京都千代田区)、「Open Innovation Biotope“bee(ビー)”」(大阪市)、「Open Innovation Biotope“Cue(キュー)”」(名古屋市)を展開し、企業や組織がこれからの「はたらく」に求める、共創の場づくりや活動をサポートしています。

会社概要

社名	株式会社岡村製作所 (OKAMURA CORPORATION)
登記上本社	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-7-18
本社	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19F TEL 045 (319) 3401代表
創業	昭和20年10月[1945年]
資本金	18,670百万円
従業員	3,216名[2017年3月31日現在]
事業内容	スチール家具全般の製造・販売 産業機械その他の製造・販売 金属製建具取付工事の請負 建築業に関わる付帯工事・設計・製造・販売 商品陳列機器その他の製造・販売 各種セキュリティ機器に関わる付帯工事・設計・販売 各種医療機器その他の機械器具の設計・製造ならびに販売 事務所の環境向上と事務・生産効率向上に関する情報の提供とこれに関連する機器の製造・販売
事業所	追浜／高島／つくば／富士／御殿場／中井／鶴見
支店	全国92支店[2017年3月現在]
取引銀行	三菱東京UFJ銀行／横浜銀行／みずほ銀行／その他当社支店所在地の各銀行本支店
株式	株主総数 6,321 [2017年3月31日現在] 発行済株式総数 112,391,530株 決算期 3月
許認可	建設業許可 許可番号 : 国土交通大臣許可(特-28)第7238号 建設業の種類 : 建築工事業・とび／土工工事業・管工事業・内装仕上工事業・電気工事業・鋼構造物工事業・機械器具設置工事業・建具工事業 許可番号 : 国土交通大臣許可(般-28)第7238号 建設業の種類 : 電気通信工事業 一級建築士事務所登録 登録番号 : 東京都知事登録第19670号 高度管理医療機器等販売業・貸与業登録 許可番号 : 第4501160087号 第三種医療機器製造販売業 許可番号 : 13B3X10208

役員

代表取締役社長	中村 雅行
専務取締役	佐藤 潔 管理本部長 岩下 博樹 マーケティング本部長 菊池 繁治 オフィス営業本部長
常務取締役	岩田 寿一 ヘルスクエア事業本部長 土志田貞一 企画本部長 山本 文雄 商環境事業本部長
社外取締役	西浦 完司 三菱商事(株)常務執行役員金属グループCEO 浅野 広視 トーア再保険(株)取締役 伊藤 裕慶 (株)キーストーン・パートナーズ監査役
取締役	小熊 誠次 デザイン本部長 金子 肇 海外営業本部長 山木 健一 生産本部長 井上 健 商環境事業本部 東日本営業本部長 田尻 誠 物流システム事業本部長 牧野 博 テレコム営業本部長 酒徳 真司 商環境事業本部 西日本営業本部長 河野 直木 オフィス営業本部首都圏営業本部長
常勤監査役	守分 宣 荒谷 克典
社外監査役	鈴木 祐一 弁護士 岩本 繁 公認会計士

関係会社

会社名	主な事業内容
国内	
(株)オカムラ物流	製品の輸送・保管・荷役・流通加工・施工
(株)オカムラ サポート アンド サービス	オフィス環境全般の 施工・保守・アフターサービス
(株)エフエム・ソリューション	ファシリティマネジメントを中心とした オフィスコンサルティング及び それに付帯する事業
(株)ヒル・インターナショナル	欧米の高級家具・インテリア製品の輸入・販売
(株)Td Japan	ディーリングデスク、 モニターアームの輸入・販売
セック(株)	商業施設、 専門店等の設計・施工・保守・メンテナンス
(株)関西岡村製作所	デスクシステム、システム収納家具の製造
(株)エヌエス オカムラ	デスクシステム、物流システム製品の製造
(株)山陽オカムラ	デスクシステム、商業施設用什器の製造
シーダー(株)	クリーンルーム用コンベヤシステム、 充填機の製造・販売
(株)富士精工本社	各種セキュリティシステム製品の製造
砂畑産業(株)	商業施設用什器の製造
(株)オカムラ ビジネス サポート	損害保険・生命保険の代理業務、 オカムラグループの福利厚生業務

海外

Okamura International (Singapore) Pte Ltd	シンガポール、 近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、 商業施設用什器の販売
上海岡村家具物流設備有限公司	中国におけるオフィス家具、 物流システム製品、 商業施設用什器等の販売
上海岡村建築裝飾有限公司	中国におけるオフィス、 商業施設向け施工・内装工事業
岡村貿易(上海)有限公司	中国におけるオカムラグループ向け製品・部品の 調達
Salotto (China) Limited	香港におけるオフィス家具の販売。 中国に販売子会社、製造子会社を持つ
杭州岡村伝動有限公司	中国における流体変速機の製造
PT. Okamura Chitose Indonesia	インドネシアにおけるオフィス家具、 商業施設用什器の販売
Siam Okamura Steel Co., Ltd.	東南アジア市場向けオフィス家具、 商業施設用什器等の製造
Siam Okamura International Co., Ltd.	タイ、近隣東南アジア諸国へのオフィス家具、 商業施設用什器の販売

(他12社 合計34社)

損益状況(会計年度)

		2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売上高	(百万円)	194,890	211,363	220,130	240,794	236,776
売上総利益	(百万円)	57,938	63,871	65,041	73,493	73,998
販売費及び一般管理費	(百万円)	50,789	54,417	56,274	60,532	62,182
営業利益	(百万円)	7,148	9,454	8,766	12,960	11,815
経常利益	(百万円)	8,098	10,067	10,347	13,590	12,761
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	5,269	6,113	6,422	9,067	8,295

財政状況(会計年度末)

総資産	(百万円)	177,959	190,913	207,387	217,485	218,741
純資産	(百万円)	86,367	93,229	103,544	108,491	114,249

キャッシュ・フロー状況

営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	9,179	9,868	7,463	13,870	11,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△8,117	△8,104	△6,487	△6,896	△9,153
フリーキャッシュ・フロー	(百万円)	1,062	1,763	976	6,974	2,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△1,517	△2,948	△3,296	△2,114	△4,184
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	25,818	24,909	22,808	27,547	25,461
借入金・社債期末残高	(百万円)	26,932	25,362	24,288	24,448	23,490

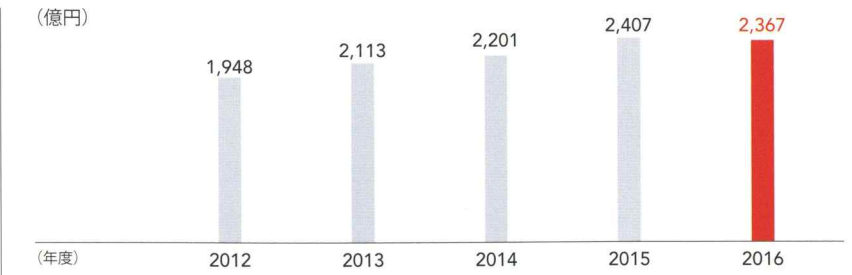
1株当たり情報

当期純利益(EPS)	(円)	47.81	55.49	58.30	82.31	75.30
純資産(BPS)	(円)	782.01	842.80	936.59	980.32	1,032.06
年間配当金	(円)	12.00	17.00	17.00	24.00	24.00

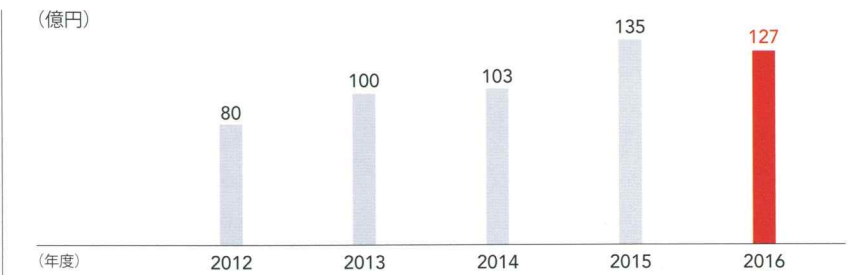
財務指標

売上高総利益率	(%)	29.7	30.2	29.5	30.5	31.3
売上高営業利益率	(%)	3.7	4.5	4.0	5.4	5.0
自己資本当期純利益率(ROE)	(%)	6.4	6.8	6.5	8.6	7.5
総資産経常利益率(ROA)	(%)	4.6	5.5	5.2	6.4	5.9
自己資本比率	(%)	48.4	48.6	49.8	49.7	52.0

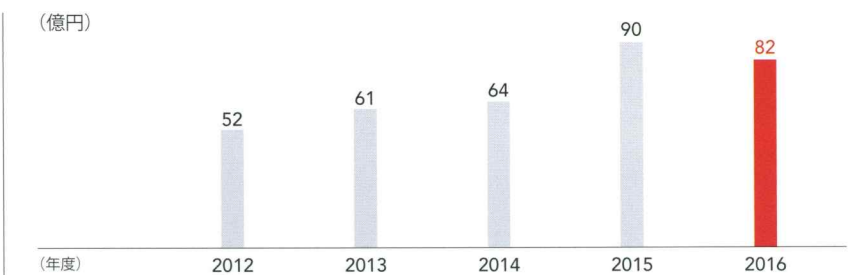
売上高



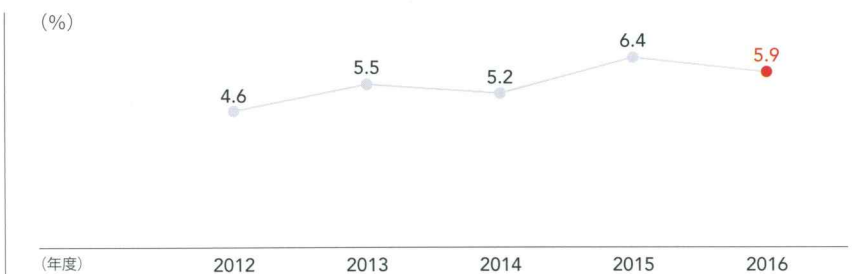
経常利益



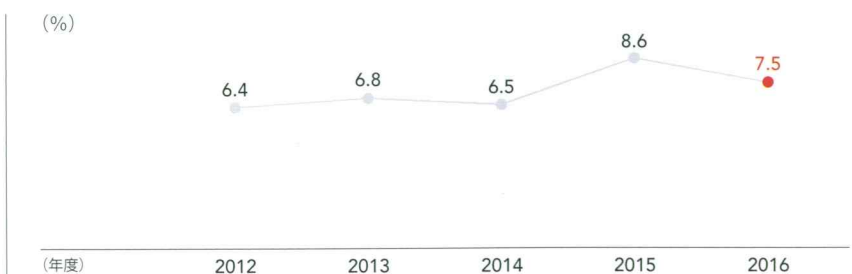
親会社株主に帰属する当期純利益



ROA (総資産経常利益率)



ROE (自己資本当期純利益率)



営業利益・売上高営業利益率

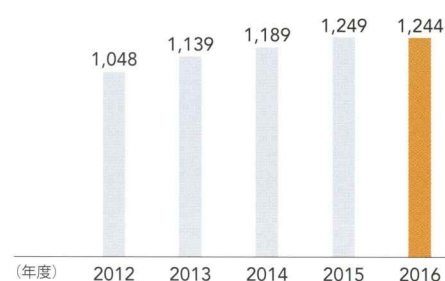


OFFICE FURNITURE
オフィス環境事業

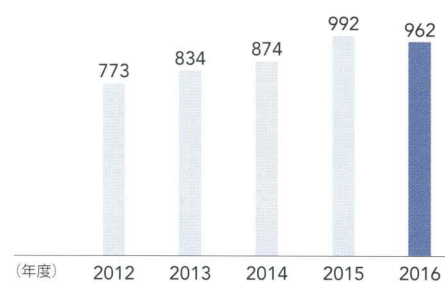
売上高構成比



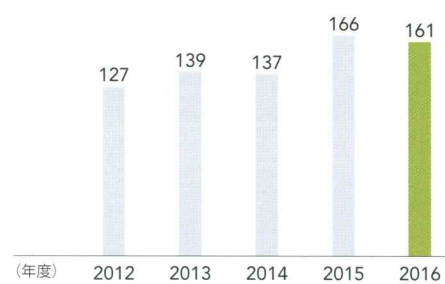
売上高 (億円)



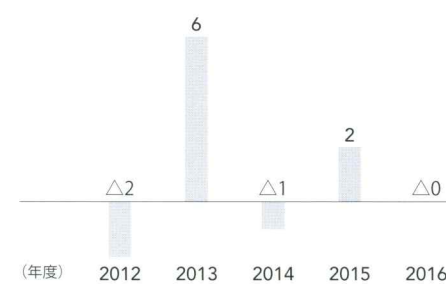
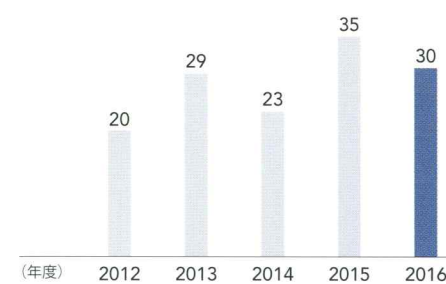
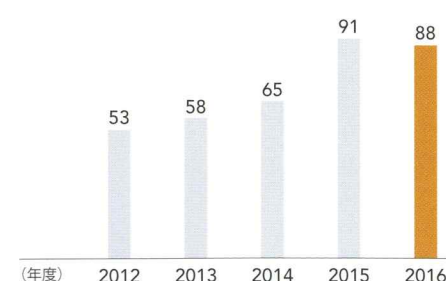
STORE DISPLAYS
商環境事業



MATERIAL HANDLING SYSTEMS & OTHERS
その他 (物流機器事業他)



営業利益 (億円)



説明

▶ オフィス環境事業につきましては、年度前半は都心を中心とした大規模オフィスビルの安定的な供給にともない、オフィス需要は堅調に推移したものの、年度後半は、大規模オフィスビルの供給は短期的な端境期に入り、大型移転案件の減少が見られました。このような状況のもと、オフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案するとともに、業績が好調な企業や学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動に努め、前連結会計年度に比べ、売上高、利益とも横ばいとなりました。この結果、当セグメントの売上高は、124,446百万円(前期比0.4%減)、セグメント利益は、8,879百万円(前期比3.3%減)となりました。

▶ 商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を生かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に注力してまいりました。しかし、小売業界の業態間競争、業界再編等による新規出店、既存店の改装需要の縮小、延期などの影響を受け、前連結会計年度に比べ、売上高、利益とも減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は96,220百万円(前期比3.0%減)、セグメント利益は、3,034百万円(前期比13.7%減)となりました。

▶ その他(物流機器事業他)につきましては、食品、医療、通販などの有力分野や自動倉庫の拡販に注力するとともに、他事業とのコラボレーションを強化し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に生かした積極的な営業活動に努めました。この結果、当セグメントの売上高は、16,109百万円(前期比3.0%減)、セグメント損失は98百万円(前期は262百万円のセグメント利益)となりました。

株主・株式情報

[2017年3月31日現在]

株式状況

発行可能株式総数	400,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	112,391,530株	株主数	6,321名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,252	8.39
オカムラグループ従業員持株会	6,397	5.80
三菱商事株式会社	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,437	4.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,408	4.90
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
三井住友海上火災保険株式会社	5,295	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会持株会	3,717	3.37

(注)持株比率は、自己株式(2,065,155株)を控除して計算しております。

1株当たり配当金・連結配当性向の推移



■ 中間配当金(円) ■ 期末配当金(円) ● 配当性向(%)

よい品は結局おトクです

オカムラ

株式会社 岡村製作所

ホームページアドレス

<http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は
お客様相談室へ

フリー
ダイヤル **0120-81-9060**
受付時間 9:00~17:20 (土・日・祝日を除く)